

○ 平野順子、袖井孝子（お茶の水女大）

日本と韓国の大学生の結婚に対する態度を比較検討するために、質問紙調査を実施した。

【調査方法】①**日本調査**：1998年11～12月に、東京都・千葉県内の四年制大学5校の学生675名に対する自記式質問紙調査。分析対象者は666名（男性213名、女性453名）で、平均年齢は男性20.5歳、女性20.7歳であった。

②**韓国調査**：1999年4～5月に、ソウル市・ソウル近郊の四年制大学11校の学生650名に対する自記式質問紙調査。分析対象者は646名（男性289名、女性357名）で、平均年齢は男性23.34歳、女性21.31歳であった。

【結果】①両国の男女とも結婚に対する意欲がきわめて高く、恋愛結婚を望む者が多い。結婚したい理由の多数を占めるのは、精神的安定を望むからであった。②日韓の最も大きな相違は性に関する意識であり、処女性・童貞性、婚前交渉、恋愛中のセックス、同棲など日本の学生は許容的だが、韓国の学生とくに女性に否定的ないし禁欲的な傾向が強い。③結婚したい年齢と、両親の反対を押し切って結婚する勇氣という点で、男女の相違が見られた。④日本女性よりも韓国女性には、儒教倫理に基づく家父長制的な家族制度のなごりが根強く残っている。